

城取博幸の

ドイツ ミューヘンのスーパーマーケット見聞録

NO66

城取フードサービス研究所

城取 博幸

ドイツ ミューヘン編

ミュヘンでは、オーガニックスーパー「BASICの徹底研究」とBIOを体験する目的

羽田～パリへ パリまで 12 時間半のフライト



「バンクーバーの朝日」を見る

日系人に対する差別～尊敬

ミュヘンには、ナチスが最初に作った「ダッハウ強制収容所」がある。

この収容所の解放は「日系アメリカ軍兵士」であった事はあまり知られていない。

アメリカは 1992 年までそれを公表していなかった。



機内食はレディ・ミール

メインの包装形態は、アルミのフタから「トップシール」になっている。

ご飯の上に具材を載せた「のせ弁」

SMで弁当レディ・ミールを販売するならば、これで十分



軽食はハンバーガー
自分で具材をバンズに挟む

パリ シャルルドゴール空港～ミュンヘンへ
約 1 時間半のフライト



空港に到着
小さな空港だ
タクシーで市内のサービスアパートメントへ向かう
料金は約 70 ユーロ(約 1 万円)と高め

サービスアパートに到着
部屋は少し狭めだが機能は揃っている



小さなキッチン付き
ここでオーガニック生活をするつもりだ

8時半だがまだ外は少し明るい
朝夕は少し冷え込む



ミュンヘン市内探索

近くのトラムの駅で、3日間有効なチケットを買う

日本語表示もあるため買い易い



ミュンヘン中央駅

インフォメーションで情報を集める



カールス広場～マリエン通りへと向かう

カールス広場



カールス門をくぐりさらに進むと「マリエン広場」が見えてくる

市庁舎の建物

人形が動く時計台がある

この中にもインフォメーションがある



市場方面に歩くと肉屋に入ってみる

表から見えるデリカ商品

まだ開店前だが店に入れてくれた

「豚骨付きすね肉ロースト」と「ホワイトウィンナー」を注文



ホワイトウィンナーのグリル

ポイルとはまた違った食感が楽しめる、皮は固いため剥いて食べる

かなり細かめのミンチ

スネ肉のロースト

塩とコショウをすり込んでグリルしたシンプルな料理。煮たものが「アイスバイン」

1日100本は売れているとのこと、ビール祭りの日は500本売れたらしい

最初は臭いが気になるが、次第に気にならなくなる

塩味が効いているためビールには合いそうだ



外はパリパリ、中はジューシー

日本人が好むパターンだ

目の前は「ヴァイトアリエン・マルクと(生鮮市場)」



旬の「ホワイトアスパラ」



きのこのこの容器に入った乾燥きのこ

シーフード店



内陸の割には品揃えが多い

「ニシンバーガー」と「海老バーガー」を注文



大きなニシンの塩漬けが1枚入っている
生臭さはない。3.5 ユーロ

オーガニックスーパー「BASIC」を発見



ここを徹底調査する予定だ

「REWE」「LIDL」「ALDI」が 3 店舗並ぶ通り

「LIDL」と「ALDI」の競合

ミュンヘンから電車で郊外に少し行った駅前のスーパーマーケット「REWE」の両側に、ハードディスカウントの「LIDL」と「ALDI」が出店

REWE

「REWE」スーパーマーケットチェーン ドイツ国内に 3,300 店。

オーストリアで 1,000 以上の店舗を持つチェーン「BILLA」も傘下に収める

小型ディスカウントストア「ペニー」はドイツ、オーストリア、イタリア、ルーマニア、ハンガリー、チェコ共和国とブルガリアに 3,000 店舗を持つ

両脇をハードディスカウントに囲まれた「REWE」

「REWE」と「LIDL」のコンビネーション出店はよく見かけるが、そこに「ALDI」までが参戦店の古さからして、後から「ALDI」が参戦したと考えられる



「REWE」は 600 坪程の標準的なスーパーマーケット

入口付近の冷蔵平ケースに、サンドイッチ、サラダ、カットフルーツ、レディ・ミールなど、即食系の商品を集めて陳列しているのが特徴



チルドのレディ・ミールコーナーも充実している

ハードディスカウントに対抗するための対面販売のデリカ売場



ホットデリ

店は違うが、ドイツにしては珍しく対面の「ホットデリ」を販売
名物の「豚すね肉のロースト」と「レバーケーゼ」を販売

ハードディスカウントに対抗するため、ドライ食品の品揃えは豊富だ



LIDL

「Lidl」は、ドイツに拠点を置くグローバルハードディスカウントチェーン。

「Handelshof」や大型スーパー「Kaufland」をも傘下に持つ

Lidl は、同じようなドイツのディスカウントチェーン「ALDI」のライバル企業である
駅を背にして、道の片側に「ALDI」「REWE」「RIDL」の順に並ぶ

「RIDL」の立地は駅から一番離れている

店の大きさは 450 坪程



入口から低価格の菓子売場が始まる

パンのバラ販売



品揃えはスーパーマーケットと変わらない
価格は、0.13~0.99 ユーロとかなりの安さだ

青果物は常温販売



冷凍食品売場拡大されている



チルド商品も冷蔵平ケースで展開

ドライ食品や雑貨はそれほど変化はないが、チルド食品、冷凍食品売場が拡大し、スーパーマーケットに近づいている印象を受けた。

ALDI

「ALDI」はグローバルなハードディスカウントチェーン

18 カ国に 9,000 以上の店舗を持つ世界最大の個人所有の企業の一つである

一番駅に近いALDI

こちらも、450 坪程の大きさ



店はまだ新しいことから、「LIDL」に対抗して後から出店したと思われる

こ店も菓子、ドライ食品からスタート



「ALDI」の一番の特徴は「パンの自動焼機」



ボタンを押してて商品を選び焼上がるのを待つ

青果売場は冷蔵ケースを使用



いつものパソコン売場

コンコースのチルド売場



肉のアウトパックの陳列作業

ホークリフトとゴミカートを同時に移動している

人気上昇商品

最近よく見かける「ハーブ＆ソルト」のコーナー



「ALDI」と「LIDL」の評価

私の見解は「LIDL」に軍配

LIDLは、チルド食品や冷凍食品の売場を拡大するなど売場が進化しているのに対し、ALDIには進化が見られない。

旧態依然の雑貨を中心にした売場で残り物の印象が強い。

自分が買い物をするとしたら「LIDL」の方が買い易い

鮮度感を出せる生鮮食品の強化は競争力があるという印象

オーガニック スーパーマーケット「BASIC」は、データが多いため、別特集します

ミュンヘン「ダッハウ強制収容所」

ここからは、歴史の勉強

ナチスが最初に作った、ミュンヘンの「ダッハウ強制収容所」へ向かう

「ダッハウの虐殺」の現場にもなった

最寄りの鉄道駅で下車し、グーグルマップに従い徒歩で向かう



さすがグーグル、近道を教えてくれる

こんなけもの道のような道を進む

グーグルの示す地点は「スケートボード練習所」であった

よくあることだ



検索し直し、1 時間ほど歩いて「ダッハウ強制収容所」に到着



入口の鉄作には、ポーランドの「アウシュビッツ強制収容所」と同じく、「働けば自由になる」というドイツ語が見える

当時のジオラマ



正面の建物は記念館になっている。

写真が多く、遺品はあまり残されていない

当時の写真が残されているが、よく見ると現在の建物は煙突が加えられている
屋根の左側に注目 当時は煙突がない



再現された居住跡

コンクリートの基礎しか残っていない



解放当時のアメリカ軍が撮った写真

他の写真は残酷過ぎてシャッターを押せなかった

アメリカ軍は 32000 人の囚人を解放した

解放後、近所の女子を集め清掃などを行ったが、ドイツ人自身収容所内部のこのような惨事は知らなかったという。

写真右下に注目



掃討作戦の中心であった、日系アメリカ軍第 442 連隊の写真は見当たらないが、よく見ると、東洋人らしき体型の後ろ姿が見える

1992 年までこのことは公表されていなかった。

当時のアメリカ本土では、日系人は強制収容所に収容されていた。

それを思うと心が痛む

日系人部隊にすれば、「戦えば自由になれる」と心に思ったに違いない

平和を祈るオブジェ



ガス室と焼却炉があったと言われる建物



当時の写真と比べると、煙突の太さと高さが違う
たぶん展示用に改修されている

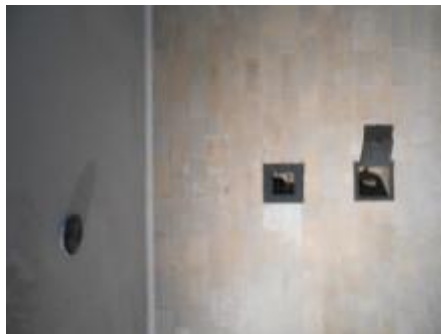
死体を焼いたと言われる焼却炉

劣悪な環境の中で「チフス」が蔓延していた



ガス室の入口

こんなドアではガス漏れしてしまう



ガス室の内部

ポプラ並木

この両側が住居棟



道の正面奥に記念碑

戦後 70 年を記念して 4 月にドイツ首相も加わり、ここで平和式典が行われた

記念碑の右側にはユダヤの記念塔



天井から光が伸びている



見学者は口々に、
「二度と起こしてはいけない」
「決して忘れてはいけない」
と言いながらも、中東やアフリカでは戦争が起きている

恒久平和を祈ります！合掌

ケールシュタインハウス(鷹の巣)

カールシュタイン山頂にある「イーグル・ネスト(ヒトラーの別荘)」へのツアーを申し込む
ツアー代金は 50 ユーロ程、入山料は 18 ユーロ別にかかる。

8時に集合して、ミュンヘンに戻るのは17時

40人乗りのバスは満席 人気のツアーだ

定番のあの名前の長いお城のツアーは諦め、こちらのツアーにした。

日本人は自分達を除けば1組

行きと帰りのコースを変えて市内観光も若干してくれる



片道2時間、こんな光景ばかりが続く

近くの街で休憩

天候にも恵まれ観光客が集まっている



街の教会

トイレ休憩でも公衆便所がない、止まっているバスで用を足すと、ドライバーが「バスのトイレは走っているときに使え！」と文句を言う

だいたい海外で用を足したければカフェに入ること。

そこで、エスプレッソのダブルを飲めば、またトイレに行きたくなる

こんな険しい山並みな見えてくる



ケールシュタイン広場に到着 この標高は 1000m

乗り換えのバスを待つ間、「記念館」を見学

当時のナチスドイツの別荘の写真



リラックスしているヒトラーの写真

死の直前結婚したという、愛人エヴァ・ブラウンとの食事の写真

連合国のポスター

「WE ARE STRONG」「WE WILL WIN」などと書かれている



三国同盟であった日本の勢力図も展示



地下は防空壕になっている

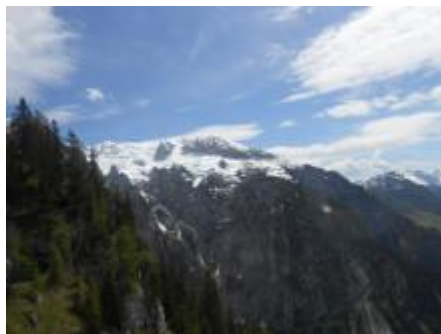
レストランで「ターキーバーガー」と「チーズダンプリング」とコーラを注文



チーズ&ポテトダンプリングとは、日本の芋餅にチーズを混ぜて焼いたような味
チーズの臭いが強烈だ ホワイトソースとよく合う

山岳バスに乗って、ここから800m上の山頂まで向かう

こんな山並みが見えてくる



山にはまだ雪が残っている

山頂付近のトンネル



ヒトラーがつくせた黄金のエレベーター 30 人も乗れる
約 40 秒で山頂に到着

ヒトラーの別荘は、イギリス軍の空爆により全て破壊され、今はレストランとなっている
レストランの中には、ムッソリーニから送られた暖炉が今も残る



天気に恵まれた
ガイドも「こんないい天気はめったにない。ガスが出れば何も見えない」
「皆さんはラッキーだ」とガイドマニュアル通りに言う
確かにこの景色は最高

頂上付近



ガラにもなく記念撮影してしまった



ヒトラーはオーストリアに生まれている

オーストリアのザルツブルグはここからすぐの距離

ドイツ人はルールに厳しいと言われている

集合時間に間に合わなければ、平気で置いて行かれるという

帰りのバスの集合時間は4時15分であったが、勘違いして4時50分とばかりと思い込んでいた。

周りに誰もいないことに気づきバスに戻る

ギリギリセーフ

無事ツアー終了

ミュンヘンの「ドイツ博物館」

早くから機械化が進んでいたドイツの科学や機械が歴史を追って展示されている

写真が少なく、現物展示が多いため分かりやすい

ドイツの重工業はスゴイ

日本関連の展示もある



日本の和紙をすく道具

日本の「トモエのそろばん」も展示



カメラの歴史



日本のカメラも展示

鉄道の歴史



自動車の展示は別の所に移したとのこと

航空機の歴史

鳥人間



複羽機

三羽機

この辺から軍用機として使われるようになった



初期の単発機

名器レッサーシュミットの展示もある



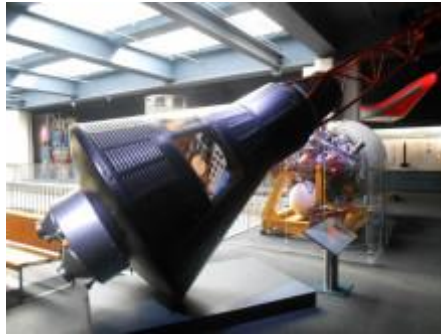
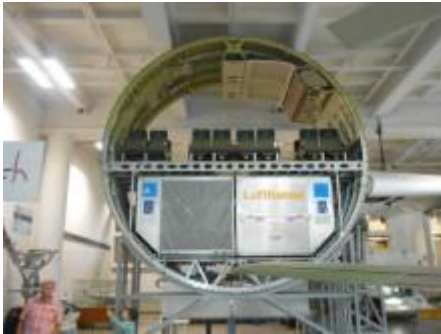
初期のジェット機

初期のVロケット



V2ロケットの動画

現在の旅客機の輪切り



宇宙船まで、かなりのスペースを取って展示されている

戦艦「ビスマルク」の模型も



航空機搭載

ドイツの潜水艦「Uボート」の現物

日本の「伊 400」は「Uボート II 型 (42.7m)」の3倍の120mの大きさだった



魚雷の装填口

一人乗りの人間魚雷らしきものも

日本の「回天」によく似ている



操縦席

屋上からの景色

ドイツの重工業の凄さの実力を見ることができた

機械も戦争に使える「凶器」、平和に使える「神器」

阿部首相が「G7サミット」でドイツいるが、戦争の起こらない社会の実現について真剣に話し合ってもらいたい。

ドイツをいろいろと見て回って、平和が一番

二度と同じ間違いを繰り返してはならない。



帰りに「オクトーバー・フェスト(10月ビール祭り)」の会場を見て、近くのビアホールでビールを飲む

会場はただの広場だが、シーズンになると期間中600万人も集まるという

会場が盛り上がれば、男も女も半裸状態らしい



静かな会場を見ながらドイツビールを飲む

一番人気のビールとつまみのオードブルを注文

ビールの味は日本の生ビールと殆ど変わらない



オードブル

生ハムと焼野菜のオリーブオイル漬け

ヨーロッパではつまみといえばこのタイプのものが多い。

ちゃんと暖かいものも含まれている。

だいぶミューヘンを楽しんだ

「BASICのオーガニック5日間生活」で体調もすこぶるいい

オーガニックの結論は「脂肪」と「糖」と「澱粉」の違いかな

まだ、試食していない商品が何品もある。

日本に持ち帰り調査、試食、記録する予定だ。

また、報告します